

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

令和3年5月21日
一般社団法人 自転車協会

一般社団法人自転車協会は、自転車活用推進法の目的である「官民挙げての自転車利用の普及促進」を同推進計画に基づき進めていくとともに、「製品の安全性確保」と「自転車の需要拡大」に向け施策を講じた。

製品の安全性については、業界団体として永年注力してきた BAA マーク制度のより一層の浸透を図った。

併せて、昨年から続くコロナウイルス禍において自転車の活用が注目される中、更なる自転車の有効利用の促進に向けて、スポーツ用自転車を中心とした自転車の需要拡大に係る各種施策に積極的に取りむとともに、各種広報媒体をとおして、ルール・マナー等、安全・安心な自転車の利用促進に係る啓発活動を行った。

併せて、東日本大震災復興支援とサイクリング文化の振興を目的としたイベント「Cycle Aid Japan」については、コロナ禍において感染防止に留意し開催した。

[1] 事業の概況

1. 安全対策事業

(1) BAA マーク制度

- ①国も「自転車活用推進計画」の中で、製品の安全性に関連して、BAA マークを社会的ニーズとして推奨していること等を踏まえ、BAA マーク貼付自転車の更なる普及拡大を図るべく、積極的に諸施策を実施した。
- ②BAA マーク貼付自転車を対象に商品検査を実施し、その結果を商品検査ワーキンググループにて報告するとともに、次年度の検査方針等の検討を行った。加えて、BAA 商品検査におけるリスク計量化運営基準並びに検査項目別リスク量の見直しに関する検討を行った。

(2) スポーツ BAA マーク制度への対応

- ①コロナ禍において通勤・通学等でスポーツ用自転車の利用者が増加する中、SBAA PLUS 認定者との連携や各種メディアを通じて、メンテナンスの重要性や交通ルール遵守に関する情報提供を行った。
- ②昨年に続き e ラーニング方式による SBAA PLUS 新規資格取得講習を、本年3月より実施し、更なる認定者の拡大を図った。
- ③従来、座学講習で実施していた SBAA PLUS ブラッシュアップ講習を、コロナ禍における感染防止と利便性の向上を目的に、全国何処からでも受講ができる e ラーニング形式による Web 講座を制作し本年3月より受講受付を開始した。

(3) 自転車安全基準

①改正自転車安全基準の発効

令和元年 10 月に改正し公布した一般用自転車及び幼児用自転車安全基準(BA)を、10 ヶ月の適用猶予期間を経て 8 月に正式に発効した。また、基準の改正に伴い、取得済型式の新基準への適合確認やマーク記番号の改定等を行った。

②「取扱説明書ガイドライン」の作成・配布

自転車の正しく安全な利用の促進並びに利用者の誤った使い方による事故を回避するため、製造事業者が推奨する正しい使用方法等を利用者に適切に伝えるべく、事業者が取扱説明書を作成する際に留意すべき点等をまとめた「BAA マーク制度 取扱説明書ガイドライン」を新たに作成し、主に BAA マーク制度参加事業者に配布した。

③消費者庁公表の報告書に関する検討

昨年 12 月に消費者安全調査委員会が公表した事故等原因調査報告書「幼児同乗中の電動アシスト自転車による事故」の提言の中で、当会の安全基準の見直しを要望する内容が含まれていることに鑑み、自転車安全基準専門委員会ならびに電動アシスト自転車専門委員会を開催し検討を開始した。

④「幼児 2 人同乗用自転車をご利用の皆様へのお願い」チラシの配布

事故防止のための安全啓発活動の一環として、平成 25 年度より実施している「幼児 2 人同乗用自転車をご利用の皆様へのお願い」チラシを本年も制作し、会員メーカーを通して販売店経由で一般ユーザーへの配布を行った。

⑤規格の検討推進

(一財)自転車産業振興協会の JIS/ISO 規格研究委員会に委員として参加し、国際規格 (IS) との整合化を含め日本産業規格 (JIS) の原案作成事業に協力した。また、ISO/WG13/16 対応国内作業部会に参画し、国際規格 (IS) 原案作成事業に協力した。

2. 広報活動

(1) BAA マーク関連広報

① 広告業務

- ・一昨年度実施したラグビー田中選手を起用した「BAA TRYOUT」の動画に交通ルール・マナー啓発を加えた再編集動画を昨年 10 月～1 月末まで Web 広告を配信した。
- ・コロナ禍における自転車の有用性を伝えるプロモーション「新しい自転車生活マナー」広告を、電車通勤者や歩行者に向けてリアルタイムでメッセージを伝えるべく交通広告を中心に本年 2 月から実施した。
- ・加えて「新しい自転車生活マナー」広告に接触した消費者をターゲットとして、店舗誘因に繋げるべく交通広告等との連動性を持たせた店頭用販促ツールとして「のぼり」と「ポスター」を制作し、リーフレットと共に、全国の販売店に配布した。

②PR 業務

- ・教職関係者を対象とした「通学車セミナー」に関しては、教育委員会との共催で、コロナ禍を踏まえ Web や e-ラーニングの活用も含めて、鳥取県、大分県、静岡県、山梨県で開催した。
- ・自転車の安全利用促進委員会(第3者委員会)をとおして、中高生の自転車事故調査の分析結果等を情報発信した。

③BAA アドバイザーについて

- ・消費者が自転車を購入する際に、BAA マーク制度についての的確に説明できる販売店スタッフを育成することを目的に創設した BAA アドバイザーについては、昨年につき e-ラーニングを活用した検定を実施した。
- ・認定者には認定者カード、バッジ、在籍店を示すウインドウステッカーを配布したほか、認定者専用 Web サイトを立ち上げスキルアップ講座の動画配信などのフォローアップを行った。
- ・また、消費者に向けて、BAA アドバイザーや認定者在籍店などを広く認知して頂くことを目的とした WEB サイトを立ち上げ、掲載情報の拡充を図った。
- ・消費者が安全・安心な自転車に関する情報を一度に閲覧できるよう、自転車選びのポイントやルール&マナー等紹介してきた「安全・安心な自転車選び」サイトの内容を、BAA アドバイザーに関する消費者向け Web サイトに移行した。

(2) スポーツ BAA 関連広報

①マウンテンバイクユーザーの拡大

- ・第1回マウンテンバイクフィールド助成の対象候補となった全国23フィールドの事業報告を精査し、21フィールドに対し助成金の給付を行った。
- ・第2回マウンテンバイクフィールド助成の対象となった24カ所のフィールドに対し、告知ツールの配布、SBAA スペシャルサイト「ENJOY SPORTS BICYCLE」での紹介等の運営面におけるバックアップを行った。
- ・第1回および第2回マウンテンバイクフィールド助成の対象となった39カ所に対してレンタルオフロードバイク助成の募集を行い、5フィールドを対象候補として選定し、本年2月から事業報告の審査を行った。

②ロードバイクとマウンテンバイクの2セクションで運営している SBAA スペシャルサイト「ENJOY SPORTS BICYCLE」については、新規ユーザー層の獲得を図るべく、密を避けるための自転車通勤やビギナー需要の高まったクロスバイク等、市場を捉えた記事を積極的に掲載したほか、グーグルやヤフー等での検索結果に表示されるよう、サイトの構成改良を行った。

③より有効なスポーツ用自転車の振興施策の立案等に役立つ情報を会員相互で共有すること等を目的に、全国のサイクリングイベントに関する情報を収集し蓄積(データベース化)した Web サイト(イベントカレンダー)を構築し「ENJOY SPORTS BICYCLE」サイトでの公開に着手した。

(3) 協会広報

①TBS ラジオ「ミラクル・サイクル・ライフ」

当会がスポンサー提供を行い、販売店と消費者の橋渡しを目的に聴取者からのメンテナンス等に関する質問に SBAA PLUS 認定者が回答するコーナーやニュースとして当会活動の情報を積極的に提供する等、番組作りにも参加し、一般ユーザー向けに安全・安心で楽しい自転車の普及のための広報活動を行った。

②自協会ニュースと SBAA EXPRESS の発行

月刊で自協会ニュースを発行し、会員及び関係先に配付した。併せて月刊で SBAA EXPRESS を発行し、SBAA マーク制度参加者(含特別賛助会員)へ配布した。

3. 自転車活用推進法への対応

自転車活用推進法並びに同推進計画を踏まえた当会と自治体との連携関係の構築については、モデル事業として「自転車を活用したまちづくり」を推進している島根県益田市への支援に加えて、連携先候補を 6 自治体との連携に関する調整を行ったが、本年度はコロナ禍の影響で支援の対象となるサイクリングイベント等の開催が見送られた。一方でコロナ禍の収束を想定し、連携実施に向けて各自治体との情報共有を継続した。

4. Cycle Aid Japan 2020 東日本震災復興サイクリングについて

当会は実行委員会の一員として参画し、2020 年 10 月 10 日(土)に磐梯熱海をスタート、ゴール地点とした「Cycle Aid Japan 2020 in 郡山 ツール・ド・猪苗代湖」を開催し、翌日の 10 月 11 日(日)には、リステルスキーファンタジアで、初心者から上級者まで幅広いユーザー層にマウンテンバイクを楽しんでいただくイベント「Cycle Aid Japan 2020 in 猪苗代 MTB RIDE 磐梯山」を開催した。

本年は、参加者を東北 6 県に在住・通勤・通学の方に限定したり、種目や参加人数を絞ったりする等、新型コロナウイルス感染拡大防止策を十分に講じた上で実施した。

5. 自転車協会主催のイベント

シマノ社主催(自転車協会協賛)で 10 月 27、28 日の 2 日間にオンライン形式で「第 12 回 OVE 地域交流会 これからの自転車文化について考える」が開催され、当会が協賛した。

加えて、環境省管轄の皇居前広場において実施する子供向け「自転車の乗り方教室」は、コロナ禍の状況を注視しながら実施に向けて運営体制や機材運搬費、人件費、委託費等に係る費用の再確認を行った。

6. サイクリング及び自転車競技等関連団体事業への協力

自転車関連団体が実施する事業に協賛し、自転車の安全・安心な利用と普及に努めた。

7. 自転車工業の基礎調査事業

自転車工業の基礎調査事業における諸統計資料を収集整備し、会員あてに輸出入の動向及び生産動態調査表を作成し頒布した。調査結果については、本年 3 月に自転車工業の基礎調査専門委員会にて報告し、次年度調査方針と併せて検討を行った。

8. 国際化への対応事業

世界的なコロナ禍により、例年開催されているアジア自転車産業連盟並びに世界自転車工業連盟の会合は開催されなかったが、電子メールにて情報交換を継続した。

[2] 会議の要録

1. 総会

第84回定時総会 令和2年6月25日 於 自転車協会

【審議事項】

- (1) 令和2年度決算報告書承認の件
- (2) 理事・監事選任の件

以上承認

臨時総会 令和3年3月26日 於 自転車協会

【審議事項】

- 令和3年度事業計画並びに予算の件について
- 以上承認

2. 理事会

第216回理事会 令和2年6月25日 書面審議

【審議事項】

- (1) 令和元年度決算報告書承認の件
- (2) 理事・監事選任の件
- (3) 令和元年度事業報告書承認の件
- (4) 令和2年度会費の一部免除について
- (5) BAA マーク制度に関する件
- (6) スポーツ BAA マーク制度に関する件
- (7) 委員会規定の改定について
- (8) 環境負荷物質ガイドラインについて
- (9) CYCLE AID JAPAN 2020 について
- (10) 自転車協会主催のセミナーについて

以上承認

第217回理事会 令和2年6月25日 書面審議

【審議事項】

- (1) 役員互選の件
- (2) 総務委員会について

以上承認

第218回理事会 令和2年9月25日 書面審議

【審議事項】

- (1) 令和2年度第1四半期 事業報告の件
- (2) 令和2年度第1四半期 会計報告の件

- (3)新規会員入会の件
- (4)令和2年度BAAマーク広報について
- (5)令和2年度BAAマーク広報PR業務について
- (6)BAAアドバイザーについて
- (7)パレスサイクリング事業について
- (8)電動アシスト自転車に係る型式認定に関する当会対応について

以上承認

第219回理事会 令和3年3月26日 書面審議

【審議事項】

- (1)令和3年度事業計画並びに予算の件について
- (2)理事選任の件
- (3)定款一部変更の件
- (4)令和3年度商品検査方針について

以上承認

3. 常任理事会

第176回常任理事会 令和2年8月6日 WEB会議

令和2年度第1四半期事業並びに会計報告の件 他

第177回常任理事会 令和2年9月10日 WEB会議

BAAマーク広報に関する件…Web広報施策のプレゼン 他

第178回常任理事会 令和2年12月22日 WEB会議

令和2年度第2四半期事業報告並びに会計報告の件 他

第179回常任理事会 令和3年2月19日 WEB会議

令和2年度第3四半期業務並びに会計報告の件 他

4. 監事会

監事会 令和2年5月22日 書面監査

令和元年度事業報告並びに会計報告

監事会 令和2年9月4日 Web会議

令和2年度第1四半期事業報告並びに会計報告

監事会 令和2年11月6日 Web会議

令和2年度第1四半期事業報告並びに会計報告

5. 総務委員会

第22回総務委員会 令和3年2月12日 Web会議

- (1)令和3年度事業計画について
- (2)令和3年度予算について
- (3)令和3年度会費算定について

6. 専門委員会等

(1) 自転車安全基準専門委員会

第1回 自転車安全基準専門委員会 令和2年8月3日 於 自転車協会

①BAA マーク貼付拡大策の検討について

②幼児2人同乗用自転車安全基準(BA)の見直しについて 他

第2回 自転車安全基準専門委員会 令和2年9月16日 WEB会議

BAA マーク貼付拡大策の検討について

第3回 自転車安全基準専門委員会 令和2年11月2日 WEB会議

BAA マーク貼付拡大策の検討について

第4回 自転車安全基準専門委員会 令和3年2月8日 WEB会議

消費者安全調査委員会による事故調査報告書に対する検討について

(2) 環境負荷物質使用状況調査・対策専門委員会 令和3年3月22日 WEB会議

令和3年度商品検査に於ける環境負荷物質検査対象部品の検討について 他

(3) 電動アシスト自転車専門委員会

第1回 電動アシスト自転車専門委員会 令和3年2月15日(月)WEB会議

①アシスト比率の逡減撤廃についての意見交換

②ペダル付き原付に対する意見交換

第2回 電動アシスト自転車専門委員会 令和3年3月16日 WEB会議

消費者安全調査委員会による事故調査報告書に対する検討について

(4) 商品検査ワーキンググループ会議

第22回 商品検査ワーキンググループ会議 令和3年2月25日 WEB形式

① 令和2年度 BAA 商品検査結果

② 令和3年度商品検査方針について

③「リスク計量化」見直しについて 他

(5) 自転車工業の基礎調査専門委員会 令和2年3月6日 於 自転車協会

令和2年度自転車工業の基礎調査結果について 他

[3] 自転車関連団体事業の協賛概要

全日本実業団自転車競技連盟が開催した以下の競技大会に協賛した。

(1) 第54回 JBCF 東日本ロードクラシック 群馬大会

(2) 第54回 JBCF 西日本ロードクラシック 広島大会 他

[4] 会員異動状況(令和3年3月31日現在)

正会員 103社

令和2年3月31日 104社

令和3年3月31日 103社

入会 (株)Bafang Japan

退会 (有)アキコーポレーション、(株)ジェフリーズジャパン

| | |
|--------|-------|
| 一般賛助会員 | 4 社 |
| 特別賛助会員 | 208 社 |

[5] その他

令和元年度事業報告書、決算報告書及び公益目的支出計画実施報告書を令和2年6月に内閣府に提出した。